



平成29年12月吉日 (m)

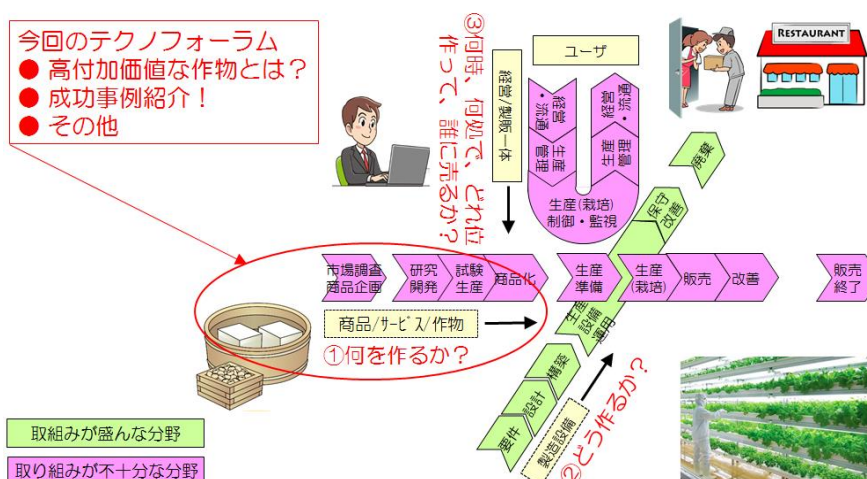
第21回 テクノフォーラム アグリビジネスの高付加価値化への提案

当協会では、機械産業の生産技術・IT を農業に活用した農作物生産システムを開発して、大手農業法人に導入、葉物野菜の生産効率・販売量を向上させることに成功しました。

農業ビジネスは、下図の通り①何を作るか（商品戦略）、②どう作るか（栽培戦略）、③何時、何処でやって、誰に販売するか（製販一体化戦略）の三つの戦略が必要です。従来のIoT農業では②だけに特化している場合が多く、充分ではありません。当協会が開発したシステムは、②と③が連携する構造であるため、成果を得ております。

本フォーラムでは、さらに①に着目し、「アグリビジネスの高付加価値化への提案」と題して、基調講演、成功事例を紹介します。パネルディスカッションでは、①～③の戦略などについて議論します。また、機械振興協会の農工連携の活動として、農業法人のニーズと機械技術のシーズを合致・実用化させる場であるコンシューマーアグリ研究会の成果を紹介します。

本フォーラムが、高収益につながる作物をお探しの農業生産者、および新商品をお探しの量販店バイヤー、農作物生産に貢献する機械産業などに有益となれば幸いです。



- 開催日時：平成30年1月30日(火) 13:30～17:30 (13:00 受付開始)
・受付後、閉会挨拶後にコンシューマーアグリ研究会の展示見学が可能
- 主催：(一財) 機械振興協会 技術研究所
- 後援：農林水産省「知」の集積と活用場の産学官連携協議会
- 受講対象：農家・農業法人(参入予定含む)、飲食店などコンシューマー、その他
- 参加費：無料(ただし申込必要)
- 定員：60名
- 申込方法：次URLからお申込み → <http://www.jspmi.or.jp/tf21/>
お申込み後、キャンセル・欠席される場合は、ご連絡をお願い致します。
- 申込期限：平成30年1月26日(金)
- 会場：機械振興会館 6D-1～3 会議室(東京都港区芝公園3-5-8)
詳細は、<http://www.jspmi.or.jp/about/access.html>をご覧ください。



■ プログラム :

- 13:00~ 開場 (受付開始、コンシューマーアグリ研究会のデモ見学可)
- 13:30~13:05 主催者挨拶
(一財) 機械振興協会 副会長 技術研究所長 後藤 芳一
- 13:35~13:55 テクノフォーラムの目的, CA 研究会について
(一財) 機械振興協会 技術研究所 技術開発センター長 飯塚 保

【 基調講演 】

- 13:55~14:15 ①(仮題) 「知」の集積と活用場について
農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課 産学連携室
産学連携担当専門官 野田 幸太郎
- 14:15~14:35 ② 食品機能成分の有効活用策の提案
東北大学大学院 農学研究科 教授 仲川 清隆

【 成功事例 】

- 14:35~14:55 ①スプラウト(新芽)を中心とした商品開発
株式会社不二工芸製作所 取締役 研究室長 農学博士 前島 靖勲
- 14:55~15:15 ②(仮題) 機能性野菜と有機野菜の商品化
株式会社サラダコスモ 研究開発本部 研究開発部長 中田 光彦
- 15:15~15:35 - 休憩 -

【 パネルディスカッション 】

- 15:35~16:35 (パネラー)
農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課 産学連携室
産学連携担当専門官 野田 幸太郎
東北大学大学院 農学研究科 教授 仲川 清隆
株式会社 不二工芸製作所 取締役 研究室長 農学博士 前島 靖勲
株式会社 サラダコスモ 研究開発本部 研究開発部長 中田 光彦
株式会社 オズスペック 代表取締役 津田 晴樹
(モデレータ)
(一財)機械振興協会 技術研究所 企画管理室長 木村 利明

- 16:35~16:40 閉会挨拶
(一財) 機械振興協会 副会長 寺田 範雄
- 16:40~17:30 名刺交換会・展示物見学
- 17:30 閉会

※ 内容・講師等に変更が出る場合もございます。あらかじめご了承ください。

- お問い合わせ : 〒203-0042 東京都東久留米市八幡町 1-1-12
一般財団法人 機械振興協会 技術研究所 企画管理室 (担当: 木村)
TEL : 042-475-1155 FAX : 042-474-1980
E-mail : forum@tri.jspmi.or.jp